

めじろむつみクラブ(MMC)会報

【第33号】 2015年(平成27年)9月1日発行

特定非営利活動法人(NPO)
めじろむつみクラブ(MMC)事務局
住所: 八王子市めじろ台2-37-12
tel: 080-1038-6875
<http://www.hachioji-mmc.com/>

【理事長挨拶】

地域の皆さま、お元気ですか。
今年は長い間 天候不順で酷暑とその後の雨模様のため、MMCの作業も順延や予定変更等で、作業依頼の皆様にはご迷惑をおかけしています。
さて秋の風物詩、MMCの「趣味の作品展」は今年で11回目を迎えることになりました。
開催日時も別記の通り決まりました。
めじろ台周辺のどなた様でもご出展、ご来場できます。
また、次世代交流を広く求め、小中学生の多数参加も期待しております。
この他、年末には「クリスマスコンサート」、年明けの3月には「めじろ寄席」も開催予定です。
お楽しみにしてください。



理事長 高橋 光男

【27年度の総会 無事終了】

5月28日 14時～15時までライオンズマンション集会室で正会員参加のもと、MMCの総会が開催され、26年度事業報告、27年度事業計画が全員一致で承認されました。
この結果をもとに、6月3日我々NPO法人の認証機関である東京都生活文化局に事業報告書、会計計算書、役員名簿、事業計画書等を提出しました。

【27年度の作業状況】

(1) 生活支援事業

4月1日から8月31日までの作業件数は60件(前年度は66件)金額面で年初計画の57.8%です。

作業内容は植木剪定、除草、花苗植えこみ、網戸張替、車庫門扉交換、家屋内片づけ処分、排水管詰まり清掃、ハチ退治、留守宅管理、台所床クッションフロア張り、天井他塗装、雨戸立て付け調整、インターフォン修理他、家屋内外の小規模作業も色々させてもらっています。



○ 邸植木剪定作業



空き家の室内片づけ処分

(2) 地域交流事業(有償分)

作業件数は15件(昨年は23件)、金額面では55.3%達成しています。

作業内容は平成 25 年より継続しています駅前喫煙所の清掃、各町会を通しての草刈、処分、不在敷地の植木剪定処分、めじろ台祭りでの資材運搬等です。



空き地草刈状況



女性会員による草刈

(3) 広報活動

1) 5月24日(日)八王子市NPO会議実行委員会主催の市内NPO会議にMMCも参加しました。グループ討議の中でMMCの詳しい活動内容を是非知りたいとのことで6月4日希望者6人に京王不動産会議室をお借りし、パワーポイント(スライド)を使用して説明しました。

2) 10月10日(土)第7期八王子志民塾(いままでの人生で学んできたこと、身に付けてきたことを地域で活かす)の塾生がめじろ台に勉強に来ます。

めじろ台は各町会と我々MMCや、他のグループがうまく連携して活動しているとのことで、これから町会・自治会等での地域活動や、起業したい塾生たちに少しでも参考になればとの狙いです。

めじろ台会館で、13時半から16時半までパワーポイントを通しての説明、質疑応答の時間も設けて行います。

2年前、第5期生達にも実施しました。

(4) 高齢者に関わる事業

MMC歴史講演会を開催しました。

◆講師：中田正光氏

(中世城郭研究家。NPO法人滝山城跡群・自然と歴史を守る会会員)

◆テーマ：「戦国の城は民衆の危機を救った・・・滝山城の場合」

◆日時：6月21日(日) 13:30~15:00

◆会場：めじろ台第一会館

◆入場料(資料代)：300円

私(坂元)の母の実家は、浅川駅(現：高尾駅)から歩いて3分くらいの甲州街道沿いのところにある。子どもの頃から、「16世紀に甲斐の武田信玄軍2万が滝山城の北側・拝島に陣をしき、攻め入ってきた。その時、別働隊の小山田信茂隊・1千が小仏峠から進入、これに対して、北条方は、廿里(とどり、正に母の実家の近く)で迎撃したが、一蹴され、滝山城は三の丸まで攻め込まれながら、寡兵で凌いだ」といった戦のストーリーを聞いてきた。

ところが今日の講演会での中田さんの説は全く異なる。武田信玄、上杉謙信をはじめ毛利元就など戦国大名は領内の飢饉、飢餓から領民を救うため、米、麦などを略奪をした、いわば略奪遠征だったと。戦国大名は戦争はしたくないとの考えがベースにある。敵が攻めてきたときに民衆が駆け込むところが城。滝山城の場合、閉鎖的空間として、氏照の住まいとして二の丸、本丸があり、それ以外は、開放的空間それは民衆の避難場所であったと。大名と領民は持ちつ持たれつの関係だった。

軍隊の背後には、人買い集団、僧侶（俄か僧侶もいた）、遊女などが続いていたといったことも・・・。

2010年に開催した講演会「直江兼続がみた名城・八王子城の最期と北条氏照」に次いでこの歴史講演会。終わっていくつかの質問も出て、40名の参加者も納得の時間を過ごしました。

講座開催事業担当 坂元 芳彦



滝山城跡の熱の入った講演会



講師の中田正光氏

(5) プロジェクトの会合

「MMCの活性化を考える勉強会」の発足
MMCの活動も10年以上が過ぎました。

諸先達の方々、活動創設期からの活躍の皆様方の努力により、安定したボランティア活動が展開されております。

八王子地域においてもその存在に高い評価がなされています。社会環境あるいは世の中の動きは常に変化している中で、MMCの活動の持続を考え更なる活性化に取り組む良い機会である今を捉え勉強会を発足いたしました。

勉強会は加藤幸子、池田太、池田えり子、田中俊光、山川正泰、関原暁子の各MMC会員、事務局として佐藤正一でのメンバー構成です。

第一回目の会合を平成27年9月2日（水）めじろ台第一会館2階で高橋光男理事長、東隆夫事務局長をゲストとしてMMCの設立から現在までや、八王子地域のボランティア活動の状況等々基本的な話を得たのち、後半はフリーディスカッションをいたしました。

今後の結果に結びつくよう勉強会を継続してゆきます。



(6) 今後のイベント

1) 趣味の作品展

今年で11回目の「趣味の作品展」、多くの方に出展していただきたく、知り合いの方がおりましたら是非、ご紹介ください。

めじろ台地区は町会回覧で、また会員の方には出展のお願い文書をお送りします。

ご紹介を受けた方にはMMC担当者が出展のお願いに参ります。

開催日：11月21日（土）～22日（日） 会場：めじろ台会館

2) クリスマスコンサート

今年のクリスマスコンサートは12月6日（日）13時半から行います。

演奏者については検討中です。

3) 落語公演会

恒例の大学落研による「めじろ寄席」は来年3月初旬に行います。

【玉砕の島 硫黄島に生まれて・・・】

東 隆夫

今年は終戦後 70 年の節目を迎えました。

私の生まれ故郷は太平洋戦争で歴史上最も過激な米軍の上陸作戦が行われた硫黄島で、昭和 15 年に生まれました。

硫黄島は東京から南に約 1,150 キロ、太平洋に浮かぶ小笠原諸島の南端に属しています。

父は小学校の先生、母は当時海軍の補給基地があった父島で、物資を納めていた商人の娘でした。

明治 24 年日本の領土になって以来、約 1,200 人の住民は亜熱帯の気候を利用して薬用のコカやレモングラス、サトウキビ、硫黄の採取、製塩、漁業、野菜、果物等の栽培をして暮らしていたようです。

火山島のため水は雨水、ランプの生活と厳しい生活条件でした。

太平洋戦争の末期、日本本土への爆撃基地の欲しかった米軍は総攻撃を仕掛けますが、(当時滑走路が 3 か所ありました) ときの日本軍守備隊司令官の栗林中将は民間人を戦火の巻き添えにさせたくないとして昭和 19 年、本土に強制疎開をさせました。

昭和 20 年 2 月の上陸作戦で、迎え撃つ日本軍は暑い地熱の塹壕に籠り、戦い続けて 20,129 人が玉砕、米軍も死傷者合わせて 28,686 人と日本軍を上回る犠牲者を出しました。

昭和 43 年に島は返還されましたが、帰島への願いは遅々として進まぬ遺骨収集、未処理の多くの不発弾、年間 30cm 以上隆起し続ける自然現象のため認められていません。

現在は海上、航空自衛隊、基地のメンテを行なう建設業者合わせて 300 数十人が常駐しています。

帰島ができない代償として東京都は、春と秋 自衛隊機による日帰り墓参、年に 1 回 4 泊 5 日の船による墓参を希望者抽選で行っています。

私は 4 回ほど日帰り墓参に参加しましたが、入間基地より防音装置の無い輸送機で苦痛の片道 2 時間半を耐え、島滞在時間はたったの 3 時間です。

現地では自衛隊の小型バスに分乗して、島民墓地跡や慰霊碑、米軍が星条旗を立てた有名な摺鉢山、硫黄の噴出している場所等を巡りますが、100m 位おきに〇〇部隊終焉の地とか慰霊碑が建っています。島は猛攻撃で丸裸になり、占領した米軍が育ちの早い木の種を飛行機で散布して現在では大分大きくなってきています。

冬でも半袖で過ごせる亜熱帯で、40 度以上もある地熱の塹壕延 18km に立てこもり無残にも玉砕した日本兵、島に軍属として残され運命を共にした青年たちの無念さは計り知れません。

2 度とあのような悲惨な戦争が起こらないよう、心から願っています。



打ち捨てられた米軍の戦車



日本軍の高射砲



苦難の飛行 2 時間半



米軍はこの海岸から上陸した